

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成29年11月21日 午前9時29分
- 2 閉 会 平成29年11月21日 午前11時17分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員
出席委員
教育長 山 中 榮 輔
教育長職務代理者 米 谷 正 造
委 員 林 直 人
委 員 小鍛治 一 圭
委 員 三 宅 眞砂子
委 員 上 岡 仁
- 5 会議に出席した者
教育部長 服 部 浩 二
参事兼庶務課長 弓 取 克 哉
学校教育課長 北 川 和 美
こども夢づくり課長 西 村 佳 子
生涯学習課長 横 田 優 子
文化課長 永 田 忠 幸
庶務課課長補佐 岩 佐 知 美
- 6 会議録署名委員
山 中 榮 輔 小鍛治 一 圭
- 7 付議事件
議案第23号 平成29年度総社市一般会計補正予算(第5号)について 原案可決
議案第24号 総社市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について
修正案可決
- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前9時29分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この委員会には、議案2件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私の他に出席委員中、小鍛冶委員にお願いします。

山中教育長 では、議案第23号「平成29年度総社市一般会計補正予算（第5号）について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第23号について質問はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 お諮りいたします。

議案第23号について、原案どおり可決してよろしいか。

（異議なし）

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第23号については可決いたしました。

山中教育長 次に議案第24号「平成29年度総社市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第24号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

小鍛冶委員 21ページの生涯学習課のファシリテーターのことですけれども、これは昨年度は30名の研修があったということでしたが、毎年だいたい30名ぐらいなんでしょうか。これは非常にいい取り組みといたしますか、私の家族もそれで非常にお世話になったんですけれども、この方たちが中心になっていろんなところでネットワークを作ってくれたり、情報交換をしたり、いろんなトラブルの防止をしてくれたり、それからPTAの活動にも活躍していただいたという話を聞きますので、こういうところをもう一つ力を入れていただきましてもっと広げていただけたら、もっとたくさんの人数の方が研修をしていただけるかなというふうに思うんですけれども、毎年だいたい30人ぐらいなんでしょうか。

横田生涯学習課長 ここ数年でどんどん増えていった結果、30人ぐらいを昨年度で達成したということで、今年度若干人数が増えてきておりますけれども、大幅な伸び方ではないので、そのあたりも、たくさんの所でお声かけをしながら、担い手が増えるように取り組んでまいりたいと思っております。

小鍛冶委員 知らない方が結構多いんじゃないかなという感じがします。ありがとうございます。

三宅委員 26ページの「学校給食残食ゼロプロジェクト」なんですけど、これは一律に進めるとなかなか子供にとっては辛い思いをすることがあるので、つい最近経験したのは、総社市ではな

いのですけど、よその学校で、給食の時に食べられなかったら居残り食べさせるということで、その子は食べられなくなりましたよ。後の対応は良かったんですけど、そういう話を先生の方にしたら「それは止めます」ということで、他にもちょっと負担に思っている子もいたみたいなんです。1学期のときは食べられなかったけど2学期になって食べられて、体重も元に戻ったので。そういう風な感じで、一斉にとというのは、子供達のこととも考えて進めていってほしいなと思いました。

北川学校教育課長 ありがとうございます。そのあたりは大切にしないといけないということの関係者一同感じているところです。たとえば、自分の食べられる量に最初に調整をして、その食べられる量に対して残さないようにしようとか、個人の取組とせずクラス全体で残食ゼロを目指しますとか、そういった配慮は必ず行うように指導しているところでございます。引き続きいろいろな声を委員の皆様からもいただきながら改善していきたいと思っております。

林委員 内容面で非常に良く、いつも頑張っていて本当にやっているなと頭が下がる思いなんですけれども、この計画を立てる段階というのはいつでしたか。その結果がこれで出てきていると思うんですけども、いつも何月ごろ立てるのかなということが1件です。

それからこれはうちの松原先生のほうから、少し整合性が見られないところもあるので気をつけて欲しいなという指摘がありました。まず1点目は、29ページの④「健やかな身体の育成」で、これが17ページでは「体」で、29ページでは「身体」になっているといった文言の違いです。それから37ページの④「文化財の保護・活用」という部分で、17ページと38ページでは「文化財の調査」となっていて、37ページでは「文化財の保護・活用」になっているところなんです。それから43ページ、「人権教育」ですけれども、44ページでは③「人権を尊重する環境づくり」というのがあります。ところが43ページには③がありません。ですから食い違いがあるということですね。②のほうも、「社会教育における人権教育の推進」というところが、44ページでは「指導者の養成・確保」という文言になっているので、こういうところは直したほうがいいじゃないかなと。ついでに言えば46ページと47ページの①「学校施設の整備・充実」、「学校施設の整備・拡充」。充実させるのか、拡充していくのかというところの文言の使い方が、どうなのかなと思います。公になるという観点からいくと、少し整合性を図ったほうがよいと思います。ちゃんと考えているのかなと思う方も中にいらっしゃるもので、そういうところをきちんとしたほうがいいんじゃないのかなということで、以上2点です。

弓取庶務課長 ご指摘ありがとうございます。整合性が取れてないというところ、公の文書として出す訳でございますので、再度見直して訂正していきたいと思っております。

計画につきましては、年度当初の教育委員会におきまして大きな目標を掲げて、それに今年度も同じ9つの柱を基に現在教育行政のほうを進めております。

上岡委員 何点か教えてください。まず20ページですけど、評価の中に下から5、6行目のところに「学生ボランティア雪舟スクールサポーターにおいては、学生ボランティアを活用したり、学校支援地域本部事業では実施できていない幼稚園を中心とした様々な活動支援を実施したり

することができました。」ということなのですが、具体的にどんなことをされたのか教えてください。

それから22ページで、雪舟スクールサポーターは大学生が中心ということなんですけども、「学生ボランティアの活用」のところで37人になっているんですが、市内全体での話ということですよ。その人数で足りましたかというのが一つ。

次に24ページで、「だれもが行きたくなる学校づくり研修会を17回実施した。」、「延べ人数が2323人の教職員が参加し、市内全ての小・中学校が連携して不登校対策に取り組むための意識改革と校内体制づくりが進みました。」と書かれているんですけど、その根拠はどこですか。2300人が根拠なのか17回が根拠なのか、そこを教えてください。

それと27ページで、学校関係者評価なんですけども、各小・中学校で23年度から実施していると思うんですが、幼稚園は28年から始めたんですかね。おそらくもっと前からやっていると思うんですけども。やったことでいいのか、先ほど言われたPDCAで学校の教育を一層高めるために学校評価をやるんだけど、やっただけでなく、もうそろそろ段階としては、公表したとかのところにもっていかないといけないのでは。そこはどうなっているのか教えてください。

それから30ページの評価のところの上から8行目のあたり、「さらには、幼小中の連携が進み学習規律が標準化されつつあります。しかし、授業づくりの面においては、課題を残しています。」となっていますね。でも25ページと26ページの文面を見たら、そんなことは書いてないですよ。岡山型学習指導のスタンダードを意識した分かる授業づくりうんぬんと書いているわけですから、じゃあどんな課題があるのか、教えてください。

次に32ページです。④「幼稚園教育の充実」の年度目標のうち「保育所（園）・こども園・幼稚園において、小学校区ごとの接続カリキュラムを実施する。」のところで、達成状況は「小学校単位の接続カリキュラム(アプローチカリキュラム)の作成と実施が100%であった。」ということですが、私立保育所を含んでいるのか教えてください。今後の課題で、33ページの下から4行目、「保こ幼の横の連携と小学校との縦の連携を図ることができた一方で」うんぬんですけど、保こ幼の連携ができたという根拠はその研修会をやったことなのか、それともサテライト研修をしたことなのか、何をもってそれができたと言っているのか判断の根拠を教えてください。細かいことを言ってすみません。

全体的にはいいかなと。ハード、ソフトも質的にも。教育は質だと思うんですけど。それを高める為に努力をされているのはよく分かりましたので、とてもいいんじゃないかと思います。

横田生涯学習課長 まず20ページの「雪舟スクールサポーター」の学生ボランティアの経緯についてですけども、基本的には学校地域支援本部事業での各地域の方々がそれぞれの学区のボランティアになっていますので、全市的な部分の補完的な意味合いというのが雪舟スクールサポーターにはあるかなというところがございます。学生さん37人ですけども、学校のご要望にはお応えができておまして、たとえば、学校地域支援本部は幼稚園には対応しておりますので、幼稚園の遠足への付き添いの補助、そういったことで活躍をいただいております。もち

ろん小学校・中学校の学習支援のほうにも活躍をいただいている状況でございます。ですので、足りたか、足りないかということであれば、今のところご要望には足りているという現状でございます。具体的な活動内容についても、併せてお答えさせていただきました。

北川学校教育課長 24ページの、体制づくりが進んだ根拠ですが、参加人数の目標が1800人ですので、悉皆をかけているところはもちろんありますが、自主的に参加された人数も含まれておりますので、そういった参加への主体性という意味では根拠になるかと思えます。ただそれだけではございません。もちろん不登校の出現率は現在頭打ちの状態になっておりますが、当初「だれ行き」が始まった頃に比べると半減し、全国、それから県よりも低い位置で推移しているというところも意識改革という部分においては当てはまると考えます。研修に参加する人数だけではなく、研修では演習等盛んに行う訳ですけれども、初めて来られた講師の先生が、前向きに参加する態度について、「こんなに意見を言い合いながら研修する市なんですね。」とよく驚かれます。始めた当時は、なぜこの研修を受けなきゃいけないのかという疑問を感じていた教職員も多かったと聞いておりますけれども、最近ではその成果を感じながら主体的に行っていること、それが学校体制作りの中においてもそれぞれの部会を作る学校が発生したり、それから「だれ行き」の研修に出る機会をなんとか自分達でも行いたいということで、学年当初に校内研で始めたりとか、そのためには自分達で説明するプレゼン資料を作っておかなければいけない。そういった推進員やシニアリーダーが進んでいっているといったところも、校内体制づくりが進んでいるとしている根拠でございます。

それから27ページの学校関係者の評価の開始時期について、申し訳ございませんが正確に把握できておりませんので、調べてまたご報告します。ただやっただけで良いのかということはその通りだなと感じております。公表につきまして、どのようにしていくべきかということにつきましても、今後校長、教頭と少し協議をさせていただきたいと思えます。教育委員の皆様は早目に学校評価を見ていただきご意見を聞いて、それを年度内にフィードバックしていくことが出来たのはここ最近のことと理解しております。公表等につきましてはまたご意見等頂きながら、積極的に行っていくべきと考えております。

最後に30ページの評価のところでは、微妙な言い方をしてしまっているなどと思って反省しております。形的にはスタンダード化がどんどん進んできており、我々としても大変うれしいことで、どこの学校どの教員の授業を見ても同じようなスタイルで出来つつあるなど、そういう意味では肯定的な書き方を前半に書かせていただいています。実は、質の面に関してはまだまだ、やらされている感といいますか、形から入るところもありまして、たとえば振り返りの時間をとりましようと言っても、振り返る時間がなかなか取れない教員が多いという事実もありますし、目当てそのものもとりあえず作って書きました、という目当てもまだ散見されます。主体的に授業を受けて学んでいくためにはどんな目当てがいいのか、そういった授業の質の変化と言いますか、協同学習のあり方についてもそうなんですけれども、形的には整いつつあるけれども、質的な高まりという意味においては授業づくりの面において課題が残っていると、そう理

解していただけたらと考えます。

上岡委員 その部分を文字で説明してくれたら。公表される訳ですから。これだけ読んだのでは分からないです。全部は言う必要なくても、授業作りの、例えば目当てのところが、子どもの目当て意識がちゃんと出来ているかということとか、何かちょっと例を言っていたきたいと思いますね。基本的なことなのでちょっと恥ずかしいかも分かりませんが、でもそれは言わなきゃいけないです。24ページのところでもですね、校内体制づくりが進みましたというのは意識改革とは別の話で。さっき言っていたような、各校でシニアリーダーが組織的に取り組むようになったとか、そういうところを入れていただいたらよく分かるんじゃないですかね。参加者も主体的に研修を受けるようになったとか、それで意識がガラッと変わって来たとか。文言がいいか分かりませんが、市民は評価するだけですから、分かるように書いていただけたらいいんじゃないかと思います。

山中教育長 抽象的でなく、もう少し具体的に書くようにというご指摘だと思いますので、箇条書きにしてやればもっと見やすいかと思います。

西村子ども夢づくり課長 32ページと33ページでございます。小学校区ごとの接続カリキュラムにつきましては、保育所も入って、担当者会議等をしております。保育所はいろいろな地区の子ども達が集っていますので、それぞれ就学する小学校が違うため、なかなか連携が難しいところがございます。そこが今後の課題になっていくところなんですけれども、このアプローチカリキュラムは小学校単位で、こういう子どもを育てるという部分は、おもとの基礎は教育大綱に基づくものでありますし、同じでございますので、そのような形で説明しながら進めていくところでございます。「保こ幼の横の連携と小学校の縦の連携が図ることができた」というところでございますが、こちらは何をもちょうどと言いますと、取組によってこういう会を開いたとか、話し合いの場において皆さんが意見や感想としてお話されていることから、このように書かせていただいたところでございます。

もう1点は、中国学園、中国短期大学の研究事業としまして、総社西小学校区と総社中央小学校区におきまして、保こ幼の連携ということで去年今年と研究事業を行っております。その中でも、よく話し合いが行われていますし、みなさんの感想を聞きましても、小学校も入って、また民間の保育所も入ってという形で、今までと違う連携が出来ているということは実感しているところでございます。ただその後のところ、担当者以外の職員へという部分につきましては、担当者は一生懸命やるんですが、担当者以外まで広がってという点ではまだまだというところもございますので、共通理解が必要と考えております。

米谷委員 体育・スポーツに関しての40ページのところですが、本当に先ほど説明がありましたように、組織的なスポーツ教室数が下がっているのが、全国的な傾向です。例えば、あまり競技をやると、子どももそうなんですけど、家族で一緒の時間が無くなるから避けるとか。組織的なスポーツに入る子どもや成人が随分減ってきている。また先ほど言われたように、同じ方がずっと続けられると高齢化も進んでいると思うんですね。なので、先ほどご説明されたことを課題

として書かれたほうが分かりやすいんじゃないのかというのが1点です。

それからもう一つ、次に向けてというところなんですけど、今全国的に子供達の体力低下の歯止めが上昇傾向にあるんです。総社市のことはピンポイントではよく分からないんですけど、まだ女の子の体を動かす頻度、時間というのが少ないので、どう対応しようというところで、幼児の頃から、スポーツじゃなくて、体を動かすことが楽しいなというようなものをやればその後ずっと続いていくんじゃないのかと思います。特に女子は骨粗しょう症の問題もあるので、運動っていうものを非常に大事に位置づけされているので、スポーツ界のほうでも言われていますので、何か子どもが集まった時に、体を親子で動かすとかいうので、もうされているかも分かりませんが、そういうので体を動かすことが習慣化にもなるのかなっていうのが一つです。あと、今、成人の生産労働人口のあたり、お父さんあたりの運動が少ないって言われているんです。働かれていると、家庭に帰ってから体を動かすことが非常に少ないので、そのあたりの体力低下が問題になっているので、何かそのあたりのことで出来るような場づくりみたいな、家族で楽しんでもいいし、仲間で楽しんでもいいと思いますので、そこらあたり来年度に向けて何か方策に入らせていただければいいのかなと思います。高齢者の体力は上がっております。

横田生涯学習課長 貴重なご意見を反映させて参りたいと思います。本当におっしゃっていただいたとおりだと認識しておりますので、一つ一ついい方向に向いて行くように取り組んでいきたいと思います。ありがとうございます。

山中教育長 参考ですが、県がしている小・中学校の体力測定で、総社は小学校では真ん中ぐらいなんです。男女とも。ところが中学校になると女子は県内トップクラスなんです。男子は2位ぐらいです。クラブ活動、スポーツが盛んだということがベースにあるんだと思いますね。クラブ活動を制限するのが本当にいいのかどうか。減らせという話が今出ていますけど、基礎体力ですから、そのところを考えながらやる必要があります。総社は中学校でも運動部が全国大会にたくさん行っていますし、県内ではかなりレベルが高いです。

林委員 個人競技で、たとえばゴルフとか、いろいろあるけど、あれは入っていないんでしょ、組織的なものには。

山中教育長 そういうのが入れば、数字が上がってきますね。

米谷委員 福山登山とかたくさんの方が行かれていますし。この時期になると至るところで歩いたり、走ったりしています。目に見えない部分に見える化するのには難しい部分なんですけどね。

山中教育長 そういうのも把握したらいいですね。

林委員 福山は、山手からも清音からもかなり行っています。

山中教育長 他にご質問、ご意見はありませんか。

上岡委員 38ページの「文化財の保護・保存」なんですけど、概ね達成できたということですが、数値目標が無いからかBなんですけど、その根拠は何ですか。何件あって何件やったとか、何か説明があれば。

永田文化課長 具体的な件数は今お答えできないのですが、保存状況が悪くて、出してみ

たら金属物が錆びていて、保存できない状況という問題が、埋蔵文化財学習の館の方であったということで、引き続き出土品の保存をしっかりとやっていきたいと思っております。具体的な件数はまた調べて報告させていただきます。

林委員 32ページの④「幼稚園教育の充実」というふうな文言は古いんじゃないのかな。就学前教育とか保育所が入っていて、私立も取り込んでやろうとしているので、そういった形を変えたほうが来年に向けていいんじゃないかなと思います。来年に向けてということで、22ページの⑤が、だんだん私なんかも気になるんですけど、「高齢化社会への対応」です。高齢者のためにやっているという感じがするんですけども、そうじゃないですね。世代間交流といった形なので、これもちょっと名前を変えたほうが感じが良いか。小さいことを言ってすみません。

山中教育長 ありがとうございます。大切なことです。

山中教育長 他にご意見がありましたら、よろしいでしょうか。

それでは、ご指摘いただいた内容を訂正したものを後日お送りしますので、ご覧いただいてご指摘をいただけたらと思います。よろしくをお願いします。

山中教育長 続きまして、私から報告をいたします。

行政視察の件につきましては、不手際により参加者が非常に少なく誠に申し訳ありません。来年度以降は、事前にどの時期がいいか、どういうところがいいか早目にご相談しまして、全員が出来るだけ行けるようなタイミングを取りたいと思います。よろしく願いいたします。申し訳ありませんでした。

キャリア教育関係ですけれども、11月9日に昭和中学校に清水聡選手が来られまして、講演をされました。なかなか良くて、実物を見ると皆非常に喜んで、心のこもった、すごくハートに響く講演でした。それから意見交換がありまして、これも非常に良かったと思います。

それから11月22日には総社中学校でキャリア教育の研究発表会があります。午後にやりますので、もしお時間が有りましたら是非ご参加いただければと思います。総社中学校は4年間この事業をやっています、地元のいろんな有名人じゃないですけど、起業したり仕事をしている人達を呼んで、ブースを作ってそこでお話を聞くとか、そういうことをしています。平成28年、29年度は教育委員会の研究指定事業にしております、今回発表会があります。中学校はキャリア教育は割合しっかり出来ているんですが、小学校がばらばらなので、中学校区で少しずつそれを進めて、来年度はこれを是非全小学校に入れたいと思っています。

それから、教員OBから、地域連携を含めて学校を支援したいと支援の申し入れがありました。学校に負担にならないようにということで、市長の所に直接行かれたんですけども、私もそこに呼ばれて、具体的に何を詰めるかということでありました。メンバーは社協の風早さん、それから古家野先生、河合先生、江本さんの4人です。実は風早さんを除いた3人で昨日1時間ほどいろいろコミュニケーションをしました。市長からは地域の力、教員OBの力を借りて、寺子屋的なものをやったらどうかという提案がありますが、どういうものが良いかということをし議論をしました。教員OBの方々は実働100名とおっしゃっていましたが、どういう形がいいの

か、教育委員会の中で検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。具体的な内容はのちほど服部部長が市長報告から戻り次第、詳細を説明いたします。以上です。

山中教育長 続きまして報告事項に移ります。「平成29年度教育支援委員会の判定結果について」事務局から説明願ひます。

北川学校教育課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの説明につきましてご意見、ご質問はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 次に、「総社市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部改正について」事務局から説明願ひます。

弓取庶務課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの説明につきましてご意見、ご質問はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 私のほうから先ほどの教員OBからの件について申し上げます。先ほど申し上げたように、先生方のOBが大勢いらっしゃるので、少し時間の余裕がある方が、学校が今忙しいので何とか支援をしたいというのが一つポイントです。もう一つは、一部の委員がおっしゃったんですが、地域との連携と申しますか、周辺地域はいいのですが、中心部のほうは特に、隣に誰がいるか分からない状態になりつつあるということを危惧されていて、そういうことも含めてどういうふうなコミュニケーションの場を作ったらいいのかなど。両方あります。具体的な案はなかなか決まらないので、今何をやっているかということを経済委員会で整理をして、次回もう一度検討しようということになりました。我々としては、放課後子ども教室あたりに来ていただいたらありがたいのですが、少し時間的に短いので、仕組みも変えていかなければいけませんし、予算も必要です。学校ごとに多分対応が違ってくると思っておりますので、そういうことも含めて来週、再来週とかにもう一度集っていただいて議論しようと思っております。その内容を次回の教育委員会に提示させていただきます。以上です。

山中教育長 では、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、12月25日午前9時30分から開催いたしますので、ご参集願ひます。

山中教育長 この際、1月の教育委員会の日程を調整したいと思っておりますが、事務局から提案願ひます。

(1月の教育委員会について日程調整)

山中教育長 それでは、1月の教育委員会は、1月17日午前9時30分から開催いたします。

では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午前 11 時 17 分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委員

職員